



令和5年度  
学校要覧



# 福井県立敦賀工業高等学校

〒914-0035 福井県敦賀市山泉 13号 1番地 TEL 0770-25-1533(代)  
FAX 0770-21-0185

<https://www.tsuruga-th.ed.jp/>  
E-mail: info@tsuruga-th.ed.jp

# 校歌

明朗に ♩ = 104

山本和夫 作詞  
信時 潔 作曲

一、野坂の嶺に虹かかる

生気におどる心の飛沫

七色の希望 学舎に溢る

われらが母校

敦賀 敦賀工業高校

理想は高く

歌 ここに充つ

二、黒河デルタに 鳥歌い

技術を磨き 勤労讃え

若きエネルギーは校旗に集う

われらが母校

敦賀 敦賀工業高校

新生拓く

気宇 ここに充つ

三、衣掛山に花紅く

かがやく歴史 敦賀の港

航路は遙か 世界に進む

われらが母校

敦賀 敦賀工業高校

大志は胸に

幸ここに充つ

## 目次

校訓・教育目標・教育方針・学校努力目標 .....	2
沿革 .....	3
教育課程 .....	4
学科の内容と進路 .....	8
職員構成 .....	12
職員一覧表 .....	12
設置学科と生徒数 .....	13
校務分掌 .....	14
出身中学校別生徒数 .....	15
生徒通学状況 .....	15
J R利用状況 .....	15
生徒会組織図 .....	16
部活動 .....	16
日課時刻表 .....	16
図書館 .....	16
令和4年度 卒業生進路状況 .....	17
最近5年間の進学先 .....	17
令和5年度 年間行事計画 .....	18
鳥瞰図 .....	20
校舎・校地 .....	20

# 進化 自律 活力

## スクールミッション

自らが身につけた確かな技術と知識を活かして、地域活性化に貢献する人材の育成と、多様な生き方が尊重、重視されるこれからの社会を、他者と協働して幸せに生きることのできる人材の育成を目指す。

## スクールポリシー

- ・地域社会の課題解決に貢献できる技術と知識を身につける
- ・主体的かつ柔軟に思考し、新たな価値を生み出す探究心を身につける
- ・多様な他者を尊重する幅広い視野と寛容の精神を身につける

## 学校努力目標

### 01 基礎的な学力の定着と自ら課題に立ち向かう工業技術者の育成に努める。

- ・教科・技術指導の研究、および評価の研究
- ・自己実現を目指す進路指導の充実
- ・教職員の相互研修の推進

### 02 健全な生活態度の育成を目指した生徒指導の充実を図る。

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・人格を尊重する精神の育成
- ・特別活動・ボランティア活動への積極的参加
- ・自己の健康管理と安全教育の徹底
- ・社会で通用するコミュニケーション能力の向上

### 03 学習環境の整備と美化に努める。

- ・校舎内外の整備と安全管理の徹底
- ・校舎内外の美化の徹底

### 04 地域社会との連携を密にし、理解と協力を深める。

- ・中高連携の充実
- ・PTA、同窓会との関係の緊密化
- ・地元企業、大学等、関係機関との連携強化
- ・地域住民との連携と地域貢献の推進

### 05 特色ある学校づくりを推進する。

- ・産業界の高度技術者を活用した実践的な工業教育
- ・学校評価を有効活用したより良い学校づくりの推進
- ・地域の環境・エネルギーを考える人材の育成

昭和37年 1月	福井県立敦賀工業高等学校として現在地に創設
昭和37年 4月	開校、機械科ならびに電気科設置（各2クラス）
昭和38年 4月	工業化学科設置（2クラス）
昭和39年 4月	建築科設置（1クラス）
昭和40年 3月	機械科・電気科第1回生卒業
昭和41年 3月	工業化学科第1回生卒業
昭和41年11月	敦賀工業高等学校竣工式典挙行
昭和42年 1月	生徒寄宿舎竣工
昭和42年 3月	建築科第1回生卒業
昭和42年 7月	水泳プール竣工
昭和44年 4月	工業化学科1クラスになる
昭和45年 3月	流体機械実習室増築
昭和47年 3月	物理化学実習室増築
昭和49年 3月	電力・電気工事实習室増築
昭和53年 3月	機械科実習工場増築
昭和56年12月	「二十年史」の発刊
昭和57年11月	普通教棟改築
昭和59年10月	特別教棟改築
昭和61年 4月	第2体育館完成
昭和61年 6月	中庭（メモリアルガーデン）完成
昭和63年10月	弓道場完成
平成 2年 3月	武道場改築移転
平成 3年 4月	機械科1クラスになる
平成 4年 3月	第1体育館リフレッシュ工事、グラウンド改修
平成 6年 3月	本館リフレッシュ工事、部室新築
平成 6年 4月	制服をブレザーの形に一新
平成 7年 4月	学科再編 (機械科を電子機械科とする、電気科を1クラスとする、工業化学科を情報ケミカル科とする、建築科を建築システム科とする)
平成 8年 3月	情報ケミカル科教棟リフレッシュ工事
平成 9年 3月	建築システム科教棟リフレッシュ工事、水泳プール改修移転
平成10年 3月	青桐寮閉寮
平成11年 9月	県道津内櫛林線建設により西側入口改修
平成13年 9月	「四十年史」の発刊
平成15年 3月	校訓「活力・自律・進化」を定める
平成23年 4月	学校設定科目「原子力・エネルギー安全工学」を開講
平成23年10月	創立五十周年記念事業で記念モニュメントと懸垂幕昇降装置を設置
平成25年 4月	新1年生より制服ブレザー・ポロシャツのデザイン変更
平成25年10月	電子機械科工場・情報ケミカル科工場・建築システム科工場リフレッシュ工事
令和 3年10月	創立六十周年記念事業で時計・照明を設置、モニュメント増設
令和 4年 3月	「六十年史」の発刊



教育課程  
(令和3年度入学生)

第1表

各教科	科目	学年 標準単位	電子機械科				電気科				情報ケミカル科				建築システム科			
			1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
国語	国語総合	4	3	2		5	3	2		5	3	2		5	3	2		5
	国語表現	3			2選B2	2・4			2選B2	2・4			2選B2	2・4			2選B2	2・4
地理 歴史	世界史A	2			2	2			2	2			2	2			2	2
	日本史A	2		選2		0・2		選2		0・2		選2		0・2		選2		0・2
	地理A	2		選2		0・2		選2		0・2		選2		0・2		選2		0・2
公民	現代社会	2	3			3	3			3	3			3	3			3
数学	数学I	3	3			3	3			3	3			3	3			3
	数学II	4		3	2	5		3	2	5		3	2	5		3	2	5
	数学B	2			選A2	0・2			選A2	0・2			選A2	0・2			選A2	0・2
理科	科学と人間生活	2	2			2	2			2	2			2	2			2
	物理基礎	2		3		3		3		3			選B2	0・2		3		3
	化学基礎	2			選B2	0・2			選B2	0・2		3		3			選B2	0・2
保健 体育	体育	7~8	3	2	2	7	3	2	2	7	3	2	2	7	3	2	2	7
	保健	2	1	1		2	1	1		2	1	1		2	1	1		2
芸術	音楽I	2	2			2	2			2	2			2	2			2
	音楽II	2			選B2	0・2			選B2	0・2			選B2	0・2			選B2	0・2
外国語	コミュニケーション英語基礎	2	2			2	2			2	2			2	2			2
	コミュニケーション英語I	3		2	2選A2	4・6		2	2	4		2	2選A2	4・6		2	2選A2	4・6
家庭	家庭総合	4		2	2	4		2	2	4		2	2	4		2	2	4
専門科目計			10	12	17・15・13・11	39・37・35・33	10	12	17・15・13	39・37・35	10	12	17・15・13・11	39・37・35・33	10	12	17・15・13・11	39・37・35・33
小計			29	29	29	87	29	29	29	87	29	29	29	87	29	29	29	87
ホームルーム活動			1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
総合的な探究の時間				1		1		1		1		1		1		1		1
自立活動			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
合計			30	31	30	91	30	31	30	91	30	31	30	91	30	31	30	91
備考			2年次(選択の形態) 日本史Aまたは地理A のどちらかの1科目選択				2年次(選択の形態) 地理Aまたは日本史A のどちらかの1科目選択				2年次(選択の形態) 地理Aまたは日本史A のどちらかの1科目選択				2年次(選択の形態) 地理Aまたは日本史A のどちらかの1科目選択			
			3年次(選択の形態) 【選択A】 数学B・コ ミュニケーション英語I または専門2科目のどちら かを選択 【選択B】 国語表現・化 学基礎・音楽II・環境・エ ネルギー安全工学よりど れか1科目を選択 選択A4単位、選択B2単 位の計6単位の選択				3年次(選択の形態) 【選択A】 数学Bまたは 専門科目のどちらか1科 目を選択 【選択B】 国語表現・化 学基礎・音楽II・環境・エ ネルギー安全工学よりど れか1科目を選択 選択A2単位、選択B2単 位の計4単位の選択				3年次(選択の形態) 【選択A】 数学B・コ ミュニケーション英語I または専門2科目のどちら かを選択(専門2科目に ついては第2表備考参照) 【選択B】 国語表現・物 理基礎・音楽II・環境・エ ネルギー安全工学よりど れか1科目を選択 選択A4単位、選択B2単 位の計6単位の選択				3年次(選択の形態) 【選択A】 数学B・コ ミュニケーション英語I または専門2科目のどちら かを選択 【選択B】 国語表現・化 学基礎・音楽II・環境・エ ネルギー安全工学よりど れか1科目を選択 選択A4単位、選択B2単 位の計6単位の選択			
			コミュニケーション英語Iは、選択により標準単位の2倍履修する 2年次の「総合的な探究の時間」は、インターンシップを中心とした自分の進路を探究するものでまとめ取りとする 3年次に「総合的な探究の時間」2単位を「課題研究」で代替する 科目「情報の科学」を「情報技術基礎」で代替する															

第2表

各教科	科目	学年 標準単位	電子機械科				電気科				情報ケミカル科				建築システム科				
			1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
工業 業	工業技術基礎	2~4	3			3	3			3	3			3	3			3	
	課題研究	2~6			2	2			3	3			2	2			2	2	
	実習	4~16		3	4	7		3	3	6		3	6	9		2	2選A2	4・6	
	製図	2~12		3	3	6			2	2					3	4	2	9	
	工業数理基礎	2~6	2			2					2	3		5					
	情報技術基礎	2~6	2			2	3				3	3		3	2			2	
	生産システム技術	2~8		2	選A2	2・4							情選2	情(0・2)					
	機械工作	2~8	3			3													
	機械設計	2~8		2	2	4													
	原動機	2~4				選A2	0・2												
	電子機械	2~6		2		2													
	電気基礎	2~10					4	3		7									
	電気機器	2~6						4		4									
	電力技術	2~8							5	5									
	電子技術	2~6						2	選A2	2・4									
	通信技術	2~6											選C2	0・2					
	ハードウェア技術	2~8											情3	情3					
	ソフトウェア技術	2~6											情3	情3					
	コンピュータシステム技術	2~8											情3	情3					
	工業化学	2~12									2	ケ3	ケ3	2・ケ8					
化学工学	2~8										ケ3	ケ選2	ケ(3・5)						
地球環境化学	2~6											選C2	0・2						
建築構造	2~6													2	2		4		
建築計画	2~8														2	選A2	2・4		
建築構造設計	2~8													2			2		
建築施工	2~6															3	3		
建築法規	2~4															2	2		
*環境・エネルギー安全工学	2				選B2	0・2				選B2	0・2			選B2	0・2			選B2	0・2
合計			10	12	17・15・13・11	39・37・35・33	10	12	17・15・13	39・37・35	10	12	17・15・13・11	39・37・35・33	10	12	17・15・13・11	39・37・35・33	
備考			・選択の形態 第1表の備考欄参照				・選択の形態 第1表の備考欄参照				2年次よりコース制 情は情報コース ケはケミカルコースを 履修する				・選択の形態 第1表の備考欄参照				
			・選択の形態 第1表の備考欄参照 3年次の選択Aで 専門2科目の場合 1つは情選とケ選から 1科目選択 もう1つは 選択Cから1科目選択 計 2科目4単位																
			[*環境・エネルギー安全工学]は学校設定科目																

教育課程  
(令和4・5年度入学生)

第1表

各教科	科目	学年 標準単位	電子機械科				電気科				情報ケミカル科				建築システム科			
			1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
国語	現代の国語	2	2			2			2			2			2			2
	言語文化	2		2			2			2			2			2		
	国語表現	4			3・選B2	3・5					3・選B2	3・5					3・選B2	3・5
地理 歴史	地理総合	2		2			2			2			2			2		
	歴史総合	2			2	2					2	2					2	2
公民	公 共	2	3			3			3			3			3			3
数学	数 学 I	3	3			3			3			3			3			3
	数 学 II	4		3	2	5			3	2	5		3	2	5			5
	数 学 A	2			選A2	0・2				選A2	0・2			選A2	0・2			0・2
理科	科学と人間生活	2	2			2			2			2			2			2
	物理基礎	2		3		3					選B2	0・2		3				3
	化学基礎	2			選B2	0・2					選B2	0・2		3			選B2	0・2
保健 体育	体 育	7~8	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7
	保 健	2	1	1		2	1	1		2	1	1		2	1	1		2
芸術	音 楽 I	2	2			2			2			2			2			2
	音 楽 II	2			選B2	0・2					選B2	0・2					選B2	0・2
外国語	英語コミュニケーションI	3	2	2		4	2	2		4	2	2		4	2	2		4
	論理・表現 I	2			2・選A2	2・4				2	2				2・選A2	2・4		
家庭	家 庭 総 合	4	2	2		4	2	2		4	2	2		4	2	2		4
専 門 科 目 計			10	12	17・15・13・11	39・37・35・33	10	12	17・15・13	39・37・35	10	12	17・15・13・11	39・37・35・33	10	12	17・15・13・11	39・37・35・33
小 計			29	29	29	87	29	29	29	87	29	29	29	87	29	29	29	87
ホームルーム活動			1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
総合的な探究の時間				1		1		1		1		1		1		1		1
自 立 活 動			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
合 計			30	31	30	91	30	31	30	91	30	31	30	91	30	31	30	91
備 考			3年次(選択の形態) 【選択A】 数学A、論理・表現Iまたは専門2科目のどちらかを選択(専門2科目については第4表備考参照) 【選択B】 国語表現・物理基礎・音楽II・環境・エネルギー安全工学よりどれか1科目を選択 選択A4単位、選択B2単位の計6単位の選択				3年次(選択の形態) 【選択A】 数学Aまたは専門2科目のどちらか1科目を選択 【選択B】 国語表現・化学基礎・音楽II・環境・エネルギー安全工学よりどれか1科目を選択 選択A2単位、選択B2単位の計4単位の選択				3年次(選択の形態) 【選択A】 数学A、論理・表現Iまたは専門2科目のどちらかを選択(専門2科目については第4表備考参照) 【選択B】 国語表現・物理基礎・音楽II・環境・エネルギー安全工学よりどれか1科目を選択 選択A4単位、選択B2単位の計6単位の選択				3年次(選択の形態) 【選択A】 数学A、論理・表現Iまたは専門2科目のどちらかを選択(専門2科目については第4表備考参照) 【選択B】 国語表現・物理基礎・音楽II・環境・エネルギー安全工学よりどれか1科目を選択 選択A4単位、選択B2単位の計6単位の選択			
			2年次の「総合的な探究の時間」は、インターンシップを中心とした自分の進路を探究するものでまとめ取りとする 3年次に「総合的な探究の時間」2単位を「課題研究」で代替する 科目「情報I」を「工業情報数理」で代替する															

第2表

各教科	科目	学年 標準単位	電子機械科				電気科				情報ケミカル科				建築システム科			
			1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
工業技術基礎	工業技術基礎	2~4	3			3			3			3			3			3
	課題研究	2~6																
実 習	実 習	4~16		3	4	7				3	3	6				3	6	9
	製 図	2~12		3	3	6					2	2				2	2	4
工業情報数理	工業情報数理	2~8	3			3			2			2			2			2
	工業管理技術	2~8											2			2		
機 械 工 作	機 械 工 作	2~8	3			3												
	機 械 設 計	2~8		2	2	4												
原 動 機	原 動 機	2~4				選A2	0・2											
	電 子 機 械	2~8		2		2												
生 産 技 術	生 産 技 術	2~8		2	選A2	2・4								情選2	情(0・2)			
電 気 回 路	電 気 回 路	2~10							4	3		7						
	電 気 機 器	2~6								4		4						
電 力 技 術	電 力 技 術	2~8									5	5						
	電 子 技 術	2~6								2	選A2	2・4						
通 信 技 術	通 信 技 術	2~6															選C2	0・2
	プログラミング技術	2~8												情2			情2	
ハードウェア技術	ハードウェア技術	2~8												情3			情3	
	ソフトウェア技術	2~8												情3			情3	
コンピュータシステム技術	コンピュータシステム技術	2~8												情2			情2	
	工業化学	2~12										2	ケ3	ケ3	2・ケ8			
化学工学	化学工学	2~8											ケ2	ケ選2	ケ(2・4)			
	地球環境化学	2~6											ケ2	選C2	ケ(2・4)			
建 築 構 造	建 築 構 造	2~6																2
	建 築 計 画	2~8															選A2	2・4
建 築 構 造 設 計	建 築 構 造 設 計	2~8																2
	建 築 施 工	2~6																3
建 築 法 規	建 築 法 規	2~4																2
ふくいの産業	*環境エネルギー安全工学	2																選B2
	ふくいの産業	1	1			1			1			1			1			1
合 計			10	12	17・15・13・11	39・37・35・33	10	12	17・15・13	39・37・35	10	12	17・15・13・11	39・37・35・33	10	12	17・15・13・11	39・37・35・33
備 考			・選択の形態 第3表の備考欄参照				・選択の形態 第3表の備考欄参照				2年次よりコース制 情は情報コース ケはケミカルコースを履修する ・選択の形態 第3表の備考欄参照 3年次の選択Aで 専門2科目の場合 1つは情選とケ選から 1科目選択 もう1つは 選択Cから1科目選択 計 2科目4単位				・選択の形態 第3表の備考欄参照			
			[*環境・エネルギー安全工学]は学校設定科目、「ふくいの産業」は学校設定教科															

## 学科の内容と進路

【 電子機械科 】	
学 習 内 容	<p>機械と電子制御に関する技術と知識を習得し、創造する能力を身につけるために次の専門科目を学習する。</p> <p><b>工業情報数理</b> 1年 工業で使用する数理・コンピュータの基礎の学習</p> <p><b>ふくいの産業</b> 1年 地域の産業についての理解や課題を発見する学習</p> <p><b>機械工作</b> 1年 主な工業用材料の性質や加工法、各種工作の原理・方法の他、行程の計画、品質管理、作業研究等の学習</p> <p><b>電子機械</b> 2年 センサの基礎、自動制御の基礎、コンピュータによるロボットの制御、ファクトリーオートメーションの学習</p> <p><b>機械製図</b> 2年・3年 図法の研究、製作図の作り方、各機械要素の設計製図、ジャッキ等の設計製図、CAD等の学習</p> <p><b>機械設計</b> 2年・3年 機械の仕組み、機械に働く力と運動、材料の強さと寸法の計算、機械要素の設計ならび規格の使い方の学習</p> <p><b>生産システム技術</b> 2年・3年 直流回路、磁気と静電気、交流回路、電子回路、計測制御、生産設備・管理の学習</p> <p><b>原動機（選択）</b> 3年 流体機械、内燃機関、蒸気機関、自動車等の学習</p>
	<p><b>1年 工業技術基礎</b> 旋盤、手仕上げ、溶接、材料試験、計測実習、電気実習、板金、エクセル、シーケンス制御</p> <p><b>2年 実習</b> 旋盤、溶接、浸透探傷・超音波試験、CNC旋盤、マシニングセンタ、シーケンス制御</p> <p><b>3年 実習</b> 機械加工総合実習、制御実習</p> <p><b>3年 課題研究</b> 各自テーマを設定して研究する</p>
実 験 ・ 実 習	<p><b>就 職</b> 〈県内〉東洋紡、TAS、敦賀海陸運輸、パナソニックAIS社、アイシン・エイ・ダブリュ工業、アイシン・エイ・ダブリュ工業・若狭、福井村田製作所、デンヨー、日本ピーエス、敦賀セメント、大洋自動車工業、並行在来線準備、永大産業 等</p> <p>〈県外〉関西電力、トヨタ自動車、トヨタ車体、デンソー、関電プラント、愛知製鋼、三菱ビルテクノサービス、川崎重工業、ヤンマー、パナソニック、日本原子力研究開発機構、J R西日本 等</p>
	<p><b>進 学</b> 〈大学〉福井大学、福井工業大、金沢工業大 等 〈専門学校〉トヨタ名古屋自動車大学校、各種専門学校 等</p>
主 な 進 路	<p>技能検定（機械加工、機械検査、機械保全、シーケンス）、QC検定、2級ボイラー技士、溶接技能者評価試験、基礎製図検定、機械製図検定、危険物取扱者（乙種全類、甲種）、第二種電気工事士、計算技術検定、情報技術検定 等</p>
	<p>資格</p>

## 実習のひとつま



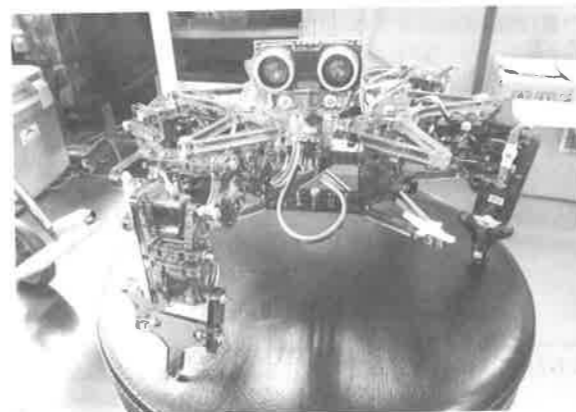
旋盤実習



溶接実習



電気実習



課題研究作品

## 【 電 気 科 】

学 習 内 容	<p>電気に関する基礎的な知識と技術を習得するため、次の専門科目を学習する。</p> <p><b>電気回路</b> 1年 電圧、電流、磁気、静電気、コンデンサ、交流回路 2年 単相交流、三相交流、電気計測</p> <p><b>工業情報数理</b> 1年 コンピュータの基本操作、プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア、コンピュータ制御</p> <p><b>ふくいの産業</b> 1年 地域の産業についての理解や課題を発見する学習</p> <p><b>電気機器</b> 2年 直流機、変圧機、誘導機、同期機、パワーエレクトロニクス</p> <p><b>電力技術</b> 3年 水力、火力、原子力発電、送電、配電、屋内配線、各種制御</p> <p><b>電子技術（2年・3年次選択）</b> 2年 ダイオード、トランジスタ、IC等の特性、これらを用いた電子回路 3年 通信システム、画像通信、音響機器、電子計測</p> <p><b>電気製図</b> 3年 製図の基礎、機械製図、電気器具、屋内配線、電気機器、電気施設、制御装置などの設計製図</p>
	<p><b>工業技術基礎</b> 1年 電気工事、オームの法則、PLC実習、オシロスコープ実習、テストの製作、テストと抵抗器実習、ワード実習、制御ボードの製作</p> <p><b>実 習</b> 2年 交流回路、交流電力、ダイオード、トランジスタ、増幅回路、整流回路、変圧器、直流機、PICによる自走カーの製作、パワーポイント実習 3年 高電圧実験、浸透探傷試験、三相同期発電機、三相結線、シーケンス制御、アームロボット、論理回路、エクセル実習、超音波センサー付き自走カーの製作</p> <p><b>課題研究</b> 3年 各自テーマを設定して研究</p>
実 験 実 習	<p><b>就 職</b> 県内／(株)TAS、東洋紡(株)、パナソニック(株)AM社、敦賀海陸運輸(株)、高速炉技術サービス(株)、デンヨー(株)、川口電気(株)、(株)福井サーボ、(株)日新メンテナンス、敦賀市役所、アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)、(株)福井村田製作所、日本電産テクノモータ(株)、大和電建(株)、福井県並行在来線準備(株)、(株)ほくつう、(有)宇野電気商会 等</p> <p>県外／トヨタ自動車(株)、関西電力(株)、北陸電力(株)、J R西日本(株)、日本原子力研究開発機構、日本原子力発電(株)、北陸電気保安協会、西日本電気システム(株)、関電プラント(株)、(株)関電パワーテック、北陸発電工事(株)、北陸電気工事(株)、ヤンマー(株)、(株)クリハラント、三菱ビルテクノサービス(株)、パナソニックES防災システムズ(株)、富士電機(株)、日本郵便(株)、西日本電気テック(株) 等</p>
	<p><b>進 学</b> 大学／福井大、長岡技術科学大、福井工業大、金沢工業大、愛知工業大、立命館大、京都造形芸術大、大阪学院大、大同工業大、滋賀文教短大、中日本自動車短大 等 専門学校／名古屋学院専門学校、中日本航空専門学校、大原簿記法律専門学校、トヨタ名古屋自動車大学校、コンピュータ総合学院HAL 等</p>
主 な 進 路	<p>第二種電気工事士 1年次に全員受験(卒業時ほぼ100%取得) 第一種電気工事士 1年次から希望者受験 第三種電気主任技術者 希望者受験 技能検定2・3級(シーケンス制御) 1年次から希望者受験 その他 電気工事施工管理技士、工事担任者、危険物取扱者、消防設備士、計算技術検定、情報技術検定、パソコン利用技術者検定 等</p>
	<p><b>在 学 中</b> 第二種電気工事士の学科試験免除、許可電気主任技術者 第三種電気主任技術者 (認定を受けているため、3年間の実務経験と申請にて取得が可能)</p>
資 格	

## 実習のひとつま



三相同期発電機の実習



自走カーの実習



交流回路実習



アームロボット実習



PLC実習



【情報ケミカル科】	
学 習 内 容	<p>情報と化学に関する技術的操作と基礎的理論知識を学ぶため、次の専門科目を学習する。</p> <p><b>工業情報数理</b> 1年 情技術の活用と事象の数理処理に関する基礎知識</p> <p><b>工業化学</b> 1年 工業の化学としての基礎知識</p> <p><b>製図</b> 1年 工業製図の基礎知識と基礎技術</p> <p><b>ふくいの産業</b> 1年 地域の産業についての理解や課題を発見する学習</p> <p><b>工業管理技術</b> 2年 工業生産の運営と管理に関する知識</p> <p><b>通信技術</b> 3年 情報通信に関する基礎的な知識と技術</p> <p><b>地球環境化学</b> 3年 環境保全に関する基礎的な知識と技術</p> <p><b>環境・エネルギー安全工学</b> 3年 環境とエネルギー、原子力に関する知識</p>
	<p><b>情報コース</b></p> <p><b>コンピュータシステム技術</b> 2年 マルチメディアとコンピュータに関する基礎的知識と技術</p> <p><b>ソフトウェア技術</b> 2年 コンピュータのソフトウェアに関する知識と技術</p> <p><b>プログラミング技術</b> 2年 プログラミングに関する知識と技術</p> <p><b>ハードウェア技術</b> 3年 コンピュータ回路、構成、データ通信に関する知識</p> <p><b>生産技術</b> 3年 生産システムに関する基礎的な知識と技術</p>
	<p><b>ケミカルコース</b></p> <p><b>工業化学</b> 2年・3年 工業の化学としての基礎知識</p> <p><b>化学工学</b> 2年・3年 化学工場を動かす技術者になるための装置運転知識</p> <p><b>地球環境化学</b> 2年 環境保全に関する基礎的な知識と技術</p>
	<p><b>工業技術基礎</b> 1年 情報基礎…プレゼンテーション、表計算、C言語、テスターの読み方と電気基礎実験</p> <p>化学基礎…ガラス細工、天秤の扱い方、混合物の分離、酸と塩基の性質、金属イオンの検出、中和滴定</p> <p><b>実習</b> 2年 情報…データベース、マルチメディア（映像・画像処理）実習、プログラミング実習、電子基板実習</p> <p>ケミカル…定性分析、定量分析、酸化還元滴定、無機合成コース 物理化学実習、バイオ化学実習</p> <p><b>実習</b> 3年 情報…論理回路、マイコン制御・プログラミング実習コース</p> <p>ケミカル…環境化学実習、有機合成、機器分析実習、プラント（アルコール精留装置）実習</p> <p><b>課題研究</b> 3年 各自テーマを設定して研究</p>
実 験 実 習	<p><b>就 職</b></p> <p><b>県内</b>／(株)アイケープラスト、(株)アイシン福井、永大産業(株)、日本ゼオン(株)、(株)原子力発電訓練センター、J A 敦賀美方、(株)ジャクエツ、信越化学工業(株)、新日本海フェリー(株)、(株)TAS、高槻電器工業(株)三方工場、敦賀海陸運輸(株)、デンヨー(株)福井工場、東洋紡(株)、日本郵便(株)、(株)ニチフ端子敦賀工場、パナソニックAMS(株)、(株)福井村田製作所、フクビ化学工業(株)</p> <p><b>県外</b>／アイシン化工(株)、アイリスオーヤマ(株)、(株)アルウィン、(株)キセキ北陸、(株)オプテス北陸工場、(株)関電パワーテック、(株)三徳、J R 西日本(株)、トヨタ自動車(株)、日本原子力研究開発機構、日本原子力発電(株)、日本海環境サービス(株)、日本合成化学工業(株)生産技術本部</p>
	<p><b>進 学</b></p> <p><b>大学</b>／立命館大、大谷大、金沢工業大、福井工業大</p> <p><b>専門学校</b>／福井市医師会看護専門学校、若狭医療福祉専門学校、福井産業技術専門学校、京都コンピュータ学院、福井情報ITクリエイター専門学校</p>
資 格	<p>危険物取扱者(丙種・乙種全類・甲種)、計算技術検定、情報技術検定、パソコン利用技術検定、日本語ワープロ検定、P検、ITパスポート、基本情報技術者試験、技能検定2・3級(化学分析作業)、火薬類取扱保安責任者、公害防止管理者、QC検定等</p>

### 実習のひとつま



動画編集実習



マイコン制御実習



技能検定(化学分析作業)



プラント実習

【建築システム科】	
学 習 内 容	<p>今日の建設技術の進展に対応できる技術者になるための基礎的な知識・技能を学習する。</p> <p><b>建築構造</b> 1年・2年 建築物の構造の基本と建築材料についての学習</p> <p><b>工業情報数理</b> 1年 コンピュータの基本操作と情報に関する基礎知識</p> <p><b>ふくいの産業</b> 1年 地域の産業についての理解や課題を発見する学習</p> <p><b>建築構造設計</b> 2年 建築物にはたらく種々の力と各部材の構造計算</p> <p><b>建築計画</b> 2年・3年(選択) 建築の歴史と各種建築物の計画立案</p> <p><b>建築法規</b> 3年 建築基準法および関係法規についての学習</p> <p><b>建築施工</b> 3年 各種工事の施工方法と建築業務についての学習</p>
	<p><b>工業技術基礎</b> 1年 木造の構造模型製作、測量、平面計画、コンピュータ等の基礎演習</p> <p><b>建築製図</b> 1年 木造建築物に関する基礎的な製図演習</p> <p><b>建築製図</b> 2年 鉄筋コンクリート・鉄骨建築物に関する基礎的な製図実習(自主設計)</p> <p><b>建築製図</b> 3年 住宅の自主設計およびCADによる製図演習</p>
	<p><b>実 習</b> 2年 各種建築技術(CAD、測量、木材加工、左官、鉄筋組立、表装等)の習得と材料試験実習</p> <p><b>実 習</b> 3年 2年次に習得した建築技術の応用実践(実地測量、材料試験、積算、建築施工図面作成)</p> <p><b>課題研究</b> 3年 施工、計画、木工、測量、環境等についての実践的課題(各自テーマを設定して研究する)</p>
	<p><b>就 職</b></p> <p><b>県内</b>／(株)日本ピーエス、敦賀協栄建築(株)、(株)あめりか屋、石黒建設(株)、(株)関組、塩浜工業(株)、(株)武笠、永大産業(株)、(株)下畑組、嶺南建設(株)、(株)辻広組、松栄建設(株)、(株)エイコー技術コンサルタント等、建築・土木・測量関連会社</p> <p><b>県外</b>／(株)KANSOテクノス、水谷建設(株)、(株)小川建設、奥村組土木興業(株)、鹿島クレス(株)西日本支社 等</p>
主 な 進 路	<p><b>進 学</b></p> <p>福井大、福井工業大、金沢工業大、愛知工業大、日本工業大、ポリテクカレッジ京都、東海工業専門学校、京都建築大学校 その他大学・専門学校</p>
	<p><b>資 格</b></p> <p><b>在学中</b> 2級建築施工管理技士(学科)、測量士補、建築CAD検定、技能検定(建築大工、左官、鉄筋組立、テクニカルイラストレーション等)、トレース技能検定、危険物取扱者、計算技術検定、情報技術検定 等</p> <p><b>卒業後</b> 1級・2級 建築士、建築・土木施工管理技士、測量士、宅地建物取引主任 等</p>

### 実習のひとつま



製 図



鉄筋施工実習



左官実習



測量実習

職員構成

性別	校長	教頭	教諭											養護教諭	実習教諭	実習助手	ALT	臨時任用講師	臨時任用実習助手	非常勤講師	事務職員	校務員	小計	産業人材コーディネーター	学 校 医 師	学 校 薬 剤 師	華 道 講 師	購 買	合 計	
			国語	地歴・公民	数 学	理 学	保 健 体 育	音 楽	英 語	家 庭	電 子 機 械	電 気	情 報 ケ ミ カ ル																	建 築 シ ス テ ム
男	1	0	0	2	3	2	3	1	2	0	4	4	5	4	0	3	3	1	1	1	4	3	2	49	1	2	1	0	0	53
女	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	3	0	0	12	0	0	0	1	1	14	
計	1	1	2	2	3	2	3	1	3	1	4	4	5	4	1	3	5	1	2	1	7	3	2	61	1	2	1	1	1	67

職員一覧表

No.	職 名	氏 名	担当教科	学級関係	校務分掌・教科主任等	部活動
1	校 長	玉 井 淳				
2	教 頭	赤 星 豊 子	英 語			
3	教 諭	五十嵐 満	国 語	3-1 担任	進路支援部・国語科主任	弓道部
4	〃	山下 恵理子	〃	2-3 担任	学習支援部	生花部・ラグビー部
5	〃	上前 三博	地理歴史・公民		保健部・教育相談室長	
6	〃	松見 道弘	〃		生徒支援部・地理歴史・公民科主任	バレーボール部
7	〃	上原 光久	数 学		1年学年主任・学習支援部	陸上部
8	〃	村田 純哉	〃	3-3 担任	進路支援部	弓道部
9	〃	河村 雄希	〃		学習支援部	サッカー部
10	〃	三田村 勇成	理 科	2-4 担任	学習支援部・理科主任	野球部
11	〃	銅子 颯太	〃		生徒支援部	バドミントン部
12	〃	山口 明	保 健 体 育		図書総務主任	ボート部
13	〃	藤原 幹治	〃	2-3 副担任	2年学年主任・生徒支援部・保健体育科主任	ラグビー部
14	〃	濱本 誠一	〃		3年学年主任・学習支援部	野球部
15	〃	岩田 浩之	音 楽		生徒支援部・生徒指導主事・芸術科主任	吹奏楽部
16	〃	浅妻 尚史	英 語	1-2 担任	進路支援部	卓球部
17	〃	田中 結奈	〃			
18	〃	小竹 景士	〃	2-2 担任	生徒支援部・英語科主任	野球部
19	〃	堀田 恵里	家 庭	1-4 担任	生徒支援部・家庭科主任	ボート部
20	〃	右近 達也	電 子 機 械	2-1 担任	進路支援部	電子機械部・サッカー部
21	〃	高須 一郎	〃	3-1 副担任	電子機械科科長	バドミントン部
22	〃	山田 啓介	〃	2-1 副担任	図書総務部	電子機械部
23	〃	出口 尚樹	〃	1-1 担任	図書総務部	電子機械部
24	〃	折井 巧	電 気		学習支援部	
25	〃	堀内 一秀	〃	1-2 副担任	学習支援部	電気部
26	〃	杉下 真文	〃	3-2 副担任	電気科科長	バレーボール部
27	〃	宮崎 素直	〃	3-2 担任	学習支援部	電気部
28	〃	中道 徹	情 報 ケ ミ カ ル		保健部・保健主事	バレーボール部
29	〃	松崎 靖	〃	1-3 担任	学習支援部	ボート部
30	〃	宮内 文範	〃	1-3 副担任	情報ケミカル科科長	情報ケミカル部・テニス部
31	〃	田中 逸郎	〃		進路支援部・進路指導主事	吹奏楽部
32	〃	大橋 昂耀	〃		進路支援部	テニス部

No.	職 名	氏 名	担当教科	学級関係	校務分掌・教科主任等	部活動
33	教 諭	清 水 浩 美	建築システム		学習支援部・教務主任	建築システム部
34	〃	波田野 公洋	〃	3-4 副担任	建築システム科科長	テニス部
35	〃	笠原 洋一郎	〃	3-4 担任	保健部	卓球部
36	〃	坂下 裕介	〃		生徒支援部	
37	養護教諭	中村 乃映			保健部・教育相談	生花部
38	実習教諭	藤本 尚也	電 子 機 械	1-1 副担任	図書総務部	バドミントン部
39	〃	谷澤 英樹	電 気	2-2 副担任	図書総務部	卓球部・電気部
40	〃	石岡 教彦	建築システム	1-4 副担任	生徒支援部	弓道部・建築システム部
41	実習助手	竹内 正人	電 子 機 械		図書総務部	電子機械部
42	〃	宮川 将和	電 気		学習支援部	サッカー部・電気部
43	〃	長谷 かおる	情報ケミカル	3-3 副担任	進路支援部	情報ケミカル部
44	〃	熊谷 新太郎	建築システム	2-4 副担任	保健部	ラグビー部
45	〃	熊谷 里依子	図 書		図書総務部	吹奏楽部
46	A L T	チャド・アンダーソン	英 語			
47	臨時任用講師	入江 直樹	保 健 体 育		進路支援部	陸上部
48	〃	出口 侑佳	英 語		学習支援部	卓球部
49	臨時任用実習助手	内田 孝三	情報ケミカル		保健部	情報ケミカル部
50	非常勤講師	堀内 宜子	家 庭		保健部	情報ケミカル部
51	〃	小和田 芳裕	電 子 機 械			
52	〃	藤野 哲也	電 気			
53	〃	松浦 貢一	情報ケミカル			
54	〃	百木 信行	〃			
55	〃	上之段 典子	建築システム			
56	〃	小澤 淳子	養 護			
57	事務 長	福井 亨				
58	主 任	本村 麻樹				
59	主 事	落谷 寧生				
60	校務 員	武田 一弘				
61	〃	辻 勝秀				
62	産業人材コーディネーター	赤星 公 司				
63	内科校医	加藤 善彦				
64	歯科校医	坂本 義昭				
65	薬 剤 師	佐々木 一成				
66	華道講師	橋本 久子				
67	購 買	森 満美子				

設置学科と生徒数

4月7日現在

学科	学年		1 学年		2 学年		3 学年		計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
電子機械科			30	(0)	28	(0)	23	(0)	81	(0)
電 気 科			31	(0)	20	(3)	27	(0)	78	(3)
情報ケミカル科			31	(9)	24	(7)	25	(3)	80	(19)
建築システム科			30	(8)	22	(5)	28	(0)	80	(13)
合 計			122	(17)	94	(15)	103	(3)	319	(35)

( ) 女子内数



校務分掌

(1) 部

校長 (玉井)	教頭 (赤星)	学習支援部 (清水)	企画、時間割 庶務、調査・統計	清水・折井・上原・松崎・濱本・山下・ 堀内(-)・宮崎・三田村・河村・出口(梅)・ 宮川	
		生徒支援部 (岩田)	企画、生徒指導 庶務、特活指導	岩田・松見・藤原・堀田・小竹・ 坂下・銅子・石岡	
		進路支援部 (田中)	企画、就職 進学、情報提供	田中・右近・浅妻・五十嵐・村田・ 大橋・入江・長谷	
		保健部 (中道)	企画、環境整備 清掃、健康教育	中道・中村・上前・笠原・熊谷(新)・内田	
		図書総務部 (山口)	庶務、読書指導 図書視聴覚、防災 PTA、同窓会、購買	山口・山田・出口(尚)・谷澤・藤本・ 竹内・熊谷(里)	
		電子機械科 (高須)	企画、管理	高須・右近・山田・出口(尚)・ 藤本・竹内	
		電気科 (杉下)	企画、管理	杉下・折井・堀内(-)・宮崎・谷澤・宮川	
		情報ケミカル科 (宮内)	企画、管理	宮内・中道・松崎・田中・大橋・ 長谷・内田	
		建築システム科 (波田野)	企画、管理	波田野・清水・笠原・坂下・石岡・熊谷	
		教育相談 (上前)	カウンセラー	上前・中村	
		事務長 (福井)	事務部	学校事務全般 校務	福井・本村・落谷・武田・辻

(2) 担任

	学年主任	1 組 電子機械科	2 組 電気科	3 組 情報ケミカル科	4 組 建築システム科
1 学年	上原	出口(尚)	浅妻	松崎	堀田
2 学年	藤原	右近	小竹	山下	三田村
3 学年	濱本	五十嵐	宮崎	村田	笠原

出身中学校別生徒数

4月7日現在

市 町	中学校名	1学年			2学年			3学年			男子 計	女子 計	総計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計			
敦賀市	気比	10	3	13	9	4	13	16	2	18	35	9	44
	松陵	27	6	33	16	2	18	20	1	21	63	9	72
	角鹿	10	0	10	6	0	6	9	0	9	25	0	25
	栗野	37	7	44	34	6	40	37	0	37	108	13	121
	東浦	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
福井市	光陽	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
南越前町	今庄	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
美浜町	美浜	9	1	10	3	2	5	10	0	10	22	3	25
若狭町	三方	6	0	6	2	0	2	2	0	2	10	0	10
	上中	3	0	3	3	0	3	3	0	3	9	0	9
小浜市	小浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小浜第二	3	0	3	3	1	4	3	0	3	9	1	10
合 計		105	17	122	79	15	94	100	3	103	284	35	319

生徒通学状況

通 学 手 段	1 学年	2 学年	3 学年	3 学年計
徒歩(自宅-学校)	10	3	6	19
徒歩(自宅-学校)(冬・雨の場合)	26	19	18	63
自転車(学校自転車置き場利用者)	96	77	78	251
J R 小浜線	22	13	18	53
J R 北陸線	0	1	0	1
バス(途中利用を含む)	0	2	0	2
バス(途中利用を含む)(冬・雨の場合)	11	14	7	32
自家用車(保護者による送迎)	0	3	2	5
自家用車(保護者による送迎)(冬・雨の場合)	65	22	24	111

JR 利用状況

小浜線

敦賀	栗野	東美浜	美浜	気山	三方	藤井	十村
0	0	7	18	2	3	0	4

大鳥羽	若狭有田	上中	新平野	東小浜	小浜	若狭本郷	合計
3	2	4	1	8	1	0	53

北陸線

今庄	南条	合計
1	0	1



令和5年度年間行事計画

日	曜	4	5	6	7	8	9
1	土		月	木	土	火	金
2	日		火	金	日	水	土
3	月		水	土	月	木	日
4	火		木	日	火	金	月
5	水		金	月	水	土	火
6	木		土	火	木	日	水
7	金		日	水	金	月	木
8	土		月	木	土	火	金
9	日		火	金	日	水	土
10	月		水	土	月	木	日
11	火		木	日	火	金	月
12	水		金	月	水	土	火
13	木		土	火	木	日	水
14	金		日	水	金	月	木
15	土		月	木	土	火	金
16	日		火	金	日	水	土
17	月		水	土	月	木	日
18	火		木	日	火	金	月
19	水		金	月	水	土	火
20	木		土	火	木	日	水
21	金		日	水	金	月	木
22	土		月	木	土	火	金
23	日		火	金	日	水	土
24	月		水	土	月	木	日
25	火		木	日	火	金	月
26	水		金	月	水	土	火
27	木		土	火	木	日	水
28	金		日	水	金	月	木
29	土		月	木	土	火	金
30	日		火	金	日	水	土
31	月		水	土	月	木	日
		胸部X線		サマー求人企業説明会		同窓会総会 県チャレンジロボコン	

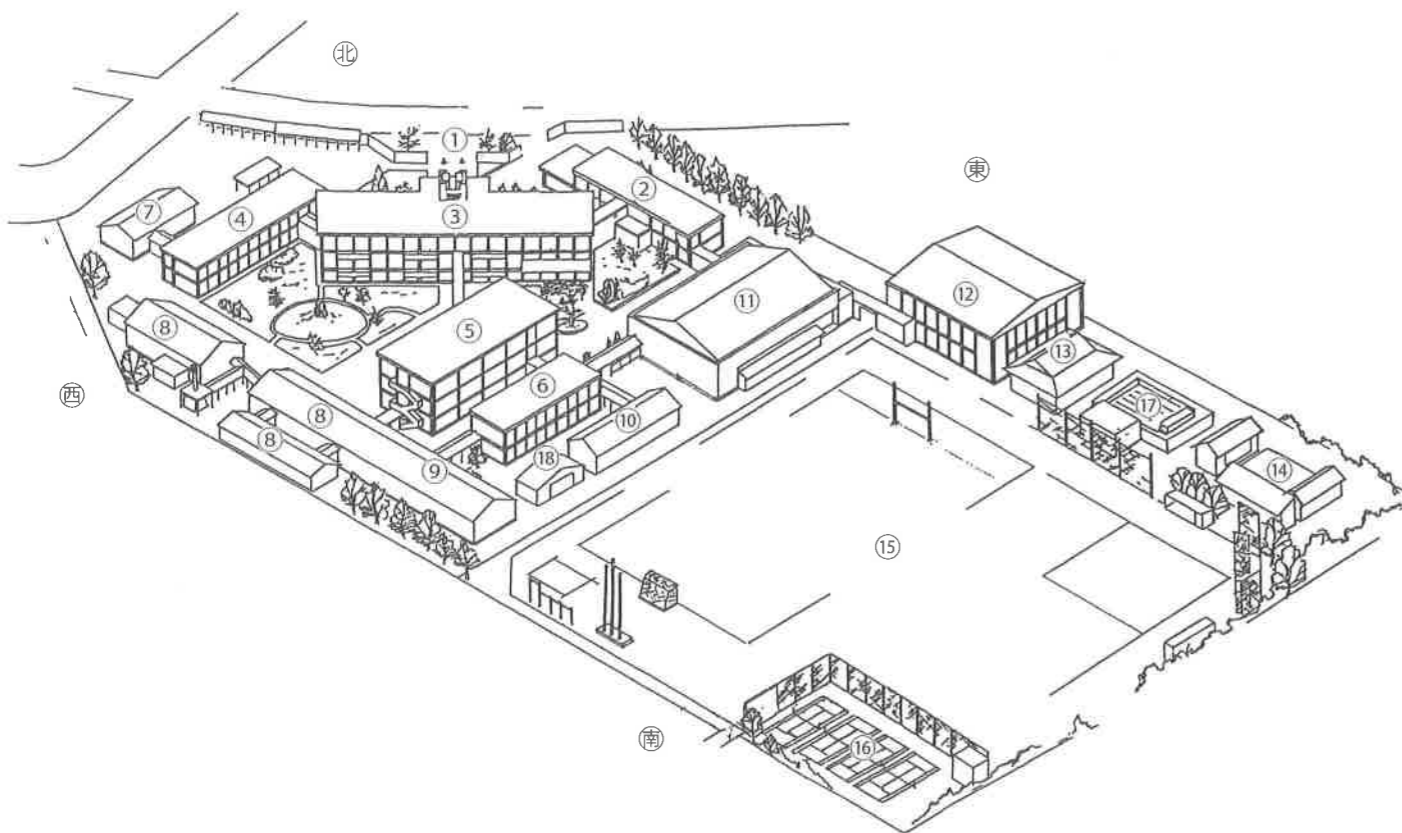
敦賀工業高等学校

日	曜	10	11	12	1	2	3	日
1	日		水	金	月	木	金	1
2	月		木	土	火	金	土	2
3	火		金	日	水	土	日	3
4	水		土	月	木	日	月	4
5	木		日	火	金	月	火	5
6	金		月	水	土	火	水	6
7	土		火	木	日	水	木	7
8	日		水	金	月	木	金	8
9	月		木	土	火	金	土	9
10	火		金	日	水	土	日	10
11	水		土	月	木	日	月	11
12	木		日	火	金	月	火	12
13	金		月	水	土	火	水	13
14	土		火	木	日	水	木	14
15	日		水	金	月	木	金	15
16	月		木	土	火	金	土	16
17	火		金	日	水	土	日	17
18	水		土	月	木	日	月	18
19	木		日	火	金	月	火	19
20	金		月	水	土	火	水	20
21	土		火	木	日	水	木	21
22	日		水	金	月	木	金	22
23	月		木	土	火	金	土	23
24	火		金	日	水	土	日	24
25	水		土	月	木	日	月	25
26	木		日	火	金	月	火	26
27	金		月	水	土	火	水	27
28	土		火	木	日	水	木	28
29	日		水	金	月	木	金	29
30	月		木	土	火	金	土	30
31	火		金	日	水	土	日	31
		工業教員研究大会		県工業課題研究発表会		合同企業説明会		



# 鳥瞰図

- ①正門
- ②管理棟
- ③普通教棟
- ④特別教棟 (建築システム科)
- ⑤特別教棟 (電子機械科・電気科)
- ⑥特別教棟 (情報ケミカル科)
- ⑦実習工場 (建築システム科)
- ⑧実習工場 (電子機械科)
- ⑨実習工場 (情報ケミカル科)
- ⑩トレーニング・ルーム
- ⑪第1体育館
- ⑫第2体育館
- ⑬武道場 (柔道)
- ⑭弓道場
- ⑮グラウンド
- ⑯テニスコート
- ⑰プール
- ⑱部室

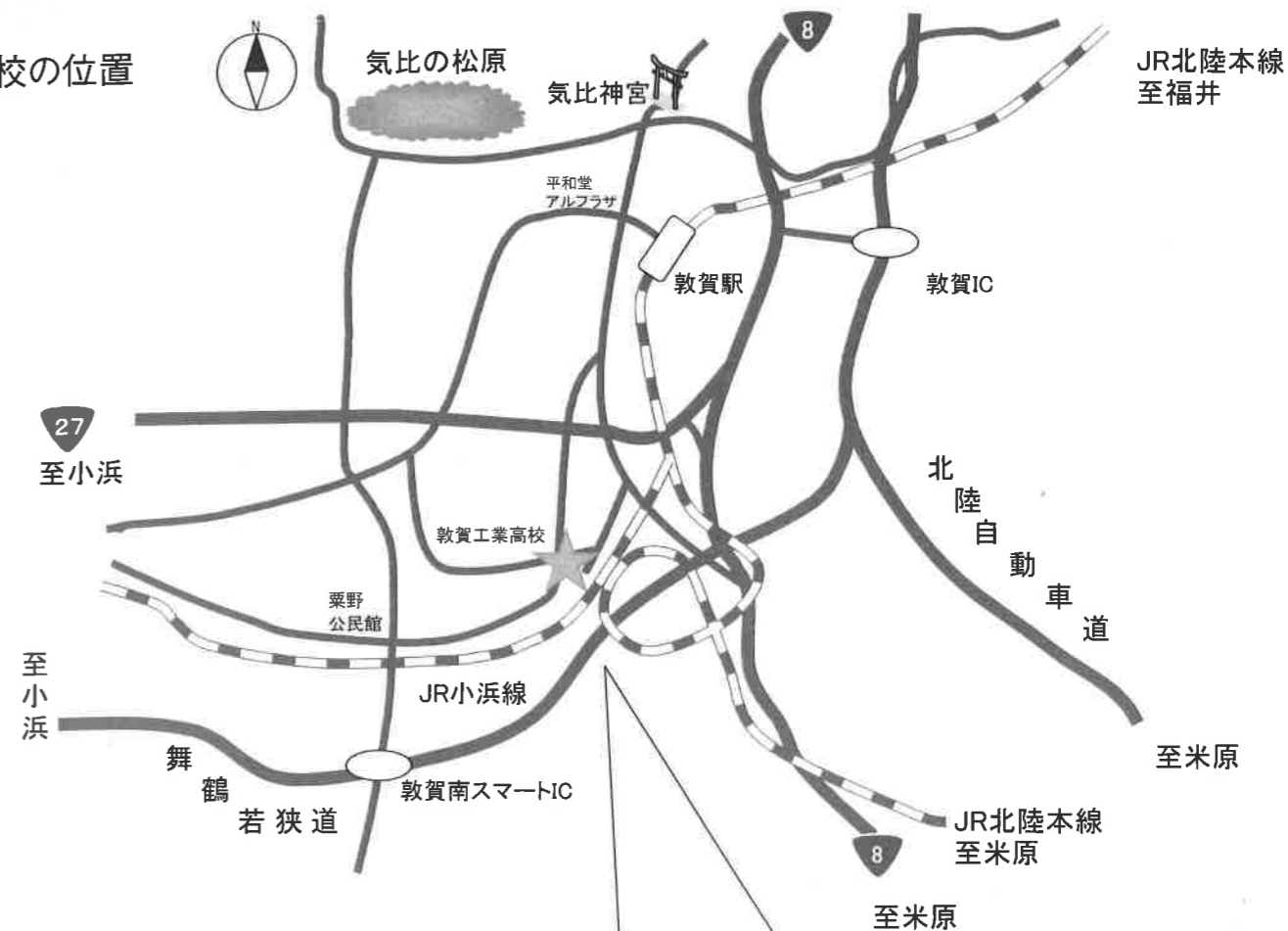


## 校舎・校地

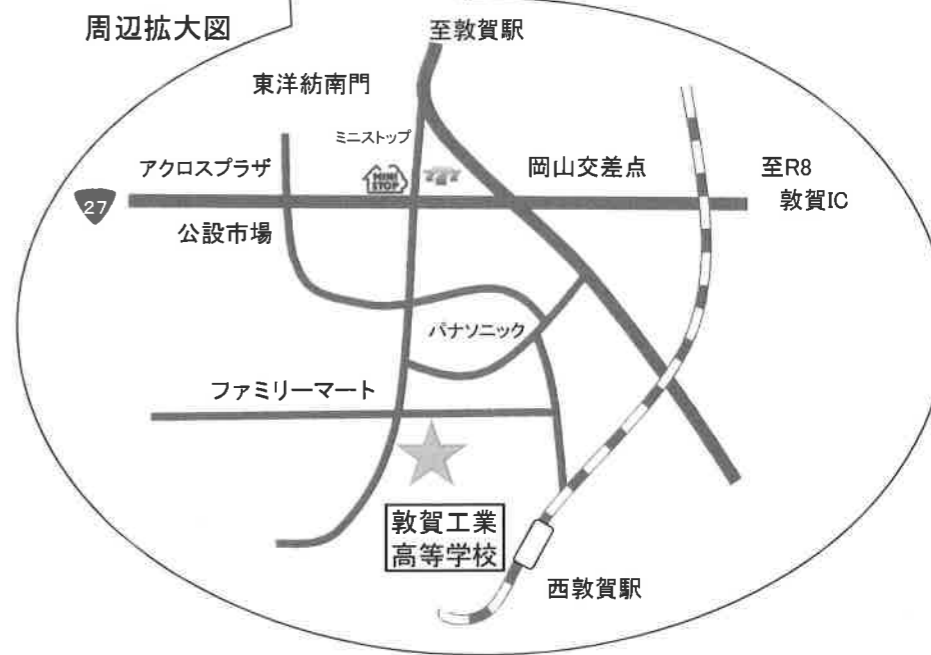
令和5年4月1日現在

建物面積(延)	14,625.24㎡		
管理棟	1,154.67	第2体育館	1,143.71
普通教棟	2,569.15	弓道場	94.77
特別教棟	3,052.94	武道場	349.69
電子機械科教棟	167.32	部室	206.02
電気科教棟	274.82	その他	2,725.34
情報ケミカル科教棟	804.08		
建築システム科教棟	1,225.44		
第1体育館	857.29		
土地面積	52,913.70㎡		
校地	52,913.70㎡		

## 学校の位置



### 周辺拡大図



## 交通の便

### JR利用の場合

- ・敦賀駅よりコミュニティバス⑨中郷・木崎線  
「工業高校前」まで約14分
- ・小浜線 西敦賀駅より徒歩約5分

### 自動車利用の場合

- ・北陸道敦賀インターより約10分
- 敦賀インターより27号線方面へ「岡山」交差点の次の信号(ミニストップ角)を左折  
3つ目の信号(ファミリーマート角)を左折してすぐ

